

案件化調査

インドネシア国 ダム湖の水草除去マネジメント向上事業案件化調査

企業・サイト概要

- 提案企業：ノダック株式会社
- 提案企業所在地：大阪府豊中市
- サイト・C/P機関：チラタ水力発電所ダム湖・インドネシア国営電力公社(PLN)およびジャワ・バリ発電会社(PJB)



水草刈取り船(WH-3000)

インドネシア国の開発課題

- 水力発電所のダム湖では、異常繁殖を繰り返す水草(ホテイアオイ)除去が手作業で行われており、非効率で維持管理コストが嵩んでいる。
- 取り残された水草群は、ダム湖内の漁民の漁船航行を阻み、刈取後、岸に放置された水草も、水質悪化を招き、養殖事業に悪影響を及ぼしている。

中小企業の技術・製品

- 水上で浮遊性及び沈水性の水生植物を機械的に刈取る水草刈取船。
- 刈取り幅が広く効率的な除去が可能であり、操作性、耐久性に優れている。
- 水草の刈取計画、水質管理を含む効果的な水草除去マネジメントノウハウを有する。

調査を通じて提案されているODA事業及び期待される効果

- チラタ水力発電所のダム湖に除去船を導入し、刈り取り作業の機械化による効率的/経済的な水草除去作業を実証するとともに、水草除去作業計画と作業員教育、漁民との連携や維持管理体制の構築を図り、除去後の水草の有効利用策も含めた総合的な水草マネジメントモデルを確立する。
- 水草マネジメントモデルを導入することにより、ダム湖の維持管理コストの軽減、刈取後の水草の適切な処理による、漁民の生活改善を含む、水域環境改善に貢献することが期待できる。

日本の中小企業のビジネス展開

- 効率的、効果的なダム湖の水草マネジメントモデルを確立することで、同様の課題を抱える他の水力発電所ダム湖はもとより、水草除去に課題を持ち、需要が見込める用水路や人工湖等への導入ビジネスに繋げる。
- また、現地パートナーを選定し、刈取り船の販売、リースあるいは現地生産をも視野に入れた事業機会の拡大を図る。